

平成29年度農業電化推進コンクール

## 受賞事例概要

(農業電化協会会長賞)

経営関連事例、ヒートポンプ以外の機器導入事例

ご注意

ここに記載の知的技術情報について、受賞者本人および当協会の許可なく複製・転載・引用することは、ご遠慮ください。

また、受賞者への直接のお問い合わせは、ご遠慮ください。

|  |     |                                  |                    |
|--|-----|----------------------------------|--------------------|
| 都道府県名  | 石川県 | 作物名                              | 水稲、稲WCS、しいたけ       |
| 業績や技術の名称   |     | 複合経営による経営発展と地域農業への貢献             |                    |
| <p>* 立地条件：能登町の旧内浦町地内は、能登町の東端、富山湾に面しており、水田は湿田や水利が悪い小区画ほ場が多く、きわめて条件が悪い。また、丘陵地には大規模な畑地があり、かつては県内有数の葉たばこ産地であったが、廃作農家が増え、遊休化した畑地が増加している。</p> <p>* 導入実践の経緯：地域の農地保全と後継者育成を図ることを目的とし、農地所有適格法人を設立して、水稲と水稲作業受託を主体とし、菌床しいたけを取り入れた複合経営に取り組んでいる。</p> <p>* 電化設備概要：ライスセンター、乾燥機、予冷库、昇降機、糶摺機、色彩選別機、精米機 等。</p> <p>* 導入技術の内容・経営の改善：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内ではじめて経営・作業改善システムを導入し、モバイル端末から作業データを入力して生産履歴やほ場管理のデータ蓄積・分析により作業効率化、経費削減、従業員の負担軽減を図る。</li> <li>作付面積拡大に伴う9月の水稲収穫作業の集中回避のため、管内で最初にWCS用稲の作付けを開始し、8月の青刈り・ロールサイレージにより、水稲収穫との作業分散を図っている。</li> </ul>  |     |                                  |                    |
| 都道府県名  | 富山県 | 作物名                              | 水稲、大豆、チューリップ、コギク 他 |
| 業績や技術の名称   |     | 主穀作集落営農法人の女性パワーと新技術導入で花き部門による複合化 |                    |
| <p>* 立地条件：砺波市権正寺は、水田による水稲、大麦、大豆が中心であるが、水稲の裏作として大正期からチューリップの球根栽培が行われ、全国でも有数の産地を形成している。</p> <p>* 導入実践の経緯：平成17年に花き部門を開設、集落内の女性パワーを活用するため、女性部「美(み)・ラーレ」を設立し、切り花の生産、インターネット等での花束販売、旧盆向け小ギクの契約販売など、女性目線のこまやかな取り組みにより経営の複合化に成功した。</p> <p>* 電化設備概要：電照栽培用LED8W 23灯、電照栽培用白熱灯75W 15灯、スポット冷房機0.5kW 2台、保冷库、水洗機、送風機、球根サイズ選別機、球根クラッシャー、結束機、梱包器 等。</p> <p>* 導入技術の内容・経営の改善：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>チューリップ球根では、送風機、スポット冷房により、球根腐敗病や、ケナガコナダニの発生が少なくなり、生産量が増加、品質も向上した。また、チューリップ切り花では、作型に合わせて冷蔵処理した球根を用いることにより作期が拡大し、生産量が増加した</li> <li>小ギクのLEDによる電照栽培は、北陸で初めての取り組みであり、天候に左右されない計画出荷が可能となったことから、市場との契約出荷数量を達成して、市場からも高い評価を得ている。</li> </ul> |     |                                  |                    |